

永久に人材に困らない 会社にしてみせる！

自動車とサッカーの融合

株式会社カーオレンジ
代表取締役

南平 義春 氏

プロフィール

1981年2月13日生まれ、38歳。宮崎県宮崎市出身、高校卒業後、宮崎市内の自動車板金塗装工場に就職。2007年に独立し2015年に法人化「株式会社カーオレンジ」を設立。板金塗装、整備、リサイクルパーツ販売と4部門で内製化。趣味はサッカー。宮崎地区社会人リーグで現在も現役でプレー。2015年には宮崎市サッカー協会第1種（社会人）委員長に就任。2016年に宮崎県中小企業家同友会に入会。宮崎南支部幹事、青年部設立準備会世話人。カーオレンジ、サッカー、同友会、すべてを不離一体と信じて活動中。



経営者としての自覚

話は会社経営と同友会との出会いについて展開した。取引先の勧めで「お付き合い」のつもりで入会した同友会であったが、社員が定着してくるかどうかという不安を例会で相談した時、内部環境を整える必要性をアドバイスされ、それが法人化のきっかけとなった。経営者が学ばなければならぬことに気づくのは、人それぞれのタイミングがあるが、南平氏の場合は法人化と同友会への入会がほぼ同時期のため、最初から会社を成長させ、社員が安心して働ける職場づくりを視野に入れていくことが素晴らしい。肝心な事業についても具体的な数値を示し、現状の業績と課題をしっかりと分析できている。

サッカーを ビジネスに繋げたい

最後に、自社のこれからの展望を話してくれたが、話は再びサッカーに戻る。タイトルどおり真面目にサッカーをビジネスに繋げたいというのが南平氏の展望のようだ。話を要約すると、地域にジュニアサッカークラブを設立すると、送迎や運搬等で自社の専門である車両を使い、保険代理店やトレーナー、理学療法士、IT、不動産等々いろいろな業種の人に手伝ってもらわなければならない。つまり様々な業種がビジネスとして関わることができ、子供達は人格的にも成長し、その親御さんは客になる。成長した子供達は社会人サッカーチームに参加し、人材の創造と循環は繰り返され、ひいては関わった会社が「永久に人材に困らない会社」になるんだと持論を展開した。会場は笑いに包まれたが、同時に妙に納得させられた。



青年部設立へ向けて

現在、宮崎同友会の中に青年部を作ろうと、青年部設立準備会が設置され、若手経営者をどんどん巻き込んで活動を拡大している。この動きのきっかけとなったのが、都城で開催された昨年の経営フォーラムにおいて座長を務めた南平氏だ。熊本の元青年部の部長を報告者に招致し、同世代で学び合うことの必要性を痛感した彼は、組織を作るために積極的に活動すると共に、自身の経営にもますます厳しく向き合うようになった。

県北支部と青年部設立準備会の 合同例会で報告が決定

8月8日に日向市で予定されている県北支部と青年部設立準備会の合同例会にて、南平氏が登壇することが決定した。またまた強気なタイトルであるが、経営体験を中心に自社分析をさらに深く掘り下げ、さらにブラッシュアップされた話が聞けるのは間違いない。

文・構成・撮影

竹原 英男
TNAソリューションデザイン株式会社
代表取締役
宮崎北支部・理事・増強本部長・
組織強化連絡会議委員・
産学官民連携部会 MANGO 会長（兼担当理事）・
広報委員会担当理事・青年部設立準備会担当理事

本資料は同友会の会員がゲストや非会員を訪問したり、入会や例会参加をお誘いする際に活用していただくために試験的に増強本部が発行しています。PDF ファイルをダウンロードできますので、印刷する等としてご活用ください。

「永久に人材に困らない会社にしてみせる！」というかなり強気のタイトルで話してくれたのは、株式会社カーオレンジ代表取締役の南平義春氏。会社経営において「永久」と言い切れることが果たしてあるのだろうか疑問に思うが、サブタイトルは「自動車とサッカーの融合」であり、まずまず話の展開が読めないところが余計に興味をそそる。5月23日に宮崎大学まちなかキャンパスにて開催された宮崎県中小企業家同友会（以下、同友会）の産学官民連携部会 MANGO 5月例会の第二部は、どんな話になるのだろうか若干の不安と期待が入り混じる空気の中でスタートした。

サッカーチームの運営が 自社の経営に活きた

南平氏の話は自己紹介から始まった。26歳で結婚し、長男が誕生。そのタイミングで義理の父の工場を間借りして個人事業を開始。こんな簡単な紹介で、話は早速サッカーの話に移る。サッカーは20歳を過ぎた頃に友人と遊びで始めたのがきっかけで、半年程が過ぎると結構な人数が集まり、



翌年には社会人リーグに登録するまでに至った。本格的にチームの運営に入ると、所詮遊びで集まったメンバーを統率し、組織として活動していくことの難しさに直面する。リーグに登録しているため、試合の運営や審判等を各チームが持ち回りで担う必要があるが、協力しないメンバーがほとんど。その頃はそんなメンバーに腹を立てていたが、今思えばリーダーである自分がメンバーに対して納得してもらえないような説明ができていなかったと、その当時の未熟さを振り返る。16年経った現在でもチームは活動中であり、南平氏は宮崎市サッカー協会第1種（社会人）委員長も務めている。サッカーチームの運営を通して、組織運営の難しさを学び、それが現在の会社経営に活かされていると言う。

人前で自身の経験を報告するということに慣れていない南平氏は、何度か打ち合わせや練習を重ねてこの講話に挑んだ。しかし、「本番に強い」と評されるだけあって、当日は素直に自然体で話し、会場はリラックスモードに包まれ、時折笑いが起きる良い雰囲気だった。株式会社カーオレンジの社員の方も何名か参加しており、熱心に社長の話聞いていた。



宮崎県中小企業家同友会
青年部設立準備会 県北支部 合同例会

不離一体 四輪駆動経営が 俺とチームを成長させる！

報告者
株式会社カーオレンジ 代表取締役
南平 義春 氏

2019 **8/8** 木 17:00 ~ 20:00
(受付: 16:30~)

ホテルベルフォート日向 宮崎県日向市上町 7-3
TEL: 0982-52-0001

参加費 1,000 円 (会員無料)

このは不動産 代表
座長 **塩谷 愛藍 氏**

株式会社日向屋 専務取締役
室長 **請関 仁 氏**